

北海道・中空知をまるごと楽しむマガジン

なかななか

来れば、なかなか、おもしろい。
ここは、なかなか、なかそらち。

保存版

札幌と旭川の間にあるエリア、
なかそらち
中空知の魅力はここからチェック！

なかそらちで、
お待ちしております！

観光窓口

●(一社)芦別観光協会

☎0124-27-7700

<https://go-to-ashibetsu.com>



●赤平観光協会(商工労政観光課内)

☎0125-32-1841

<http://akabirakankoukyoukai.jp>



●(一社)たきかわ観光協会

☎0125-23-0030

<http://kankou-takikawa.jp>



●砂川観光協会

☎0125-54-4995

<https://sunagawa-kankou.com>



●歌志内市産業課

☎0125-42-3215

<https://www.city.utashinai.hokkaido.jp/hotnews/category/6.html>



●ないえ町観光協会

☎0125-65-2151

<https://naiekankou.com>



●上砂川町企画課

☎0125-62-2223

https://town.kamisunagawa.hokkaido.jp/sangyo_kanko/index.html



●浦臼町観光協会(産業課内)

☎0125-68-2114

<https://www.town.urausu.hokkaido.jp/kankou/index.html>



●新十津川町観光協会(産業振興課内)

☎0125-76-2134

<https://www.town.shintotsukawa.lg.jp/kanko/>



●雨竜町観光協会

☎0125-77-2673

<http://www.uryunuma.info>



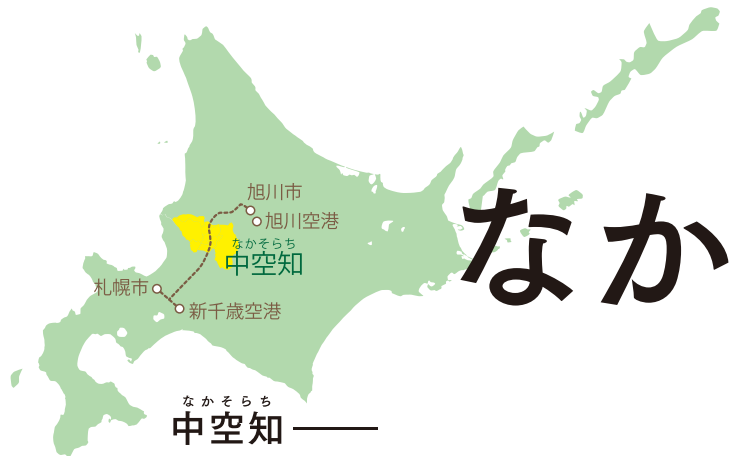
発行／中空知広域市町村圏組合

<http://www.nakasorachi.com/>



〒073-8686 滝川市大町1-2-15 滝川市役所10F ☎0125-22-1226

中空知広域市町村圏組合は、中空知5市5町で構成する一部事務組合(特別地方公共団体)です。



なかそらち

中空知——

そこは、初めての感動に満ちている。

札幌から旭川までは約130km、車で約150分ですが、その中間にある中空知に立ち寄ったことはありますか？

日本一長い国道がまっすぐ続き、富良野や美瑛など有名な観光地が近くにあるため、そのまま通り過ぎてしまいがちですが、実はなかなかおもしろい。いつでも、気軽に立ち寄れる中空知の魅力を紹介します。

中空知10市町



浦臼神社のエゾリス（浦臼町）

CONTENTS

- P04 なかそらちの絶景
- P06 なかそらちで感動体験
- P08 なかそらちハイブランド
- P10 マニアックなかそらち
- P14 炭鉱叙景
- P16 なかそらち食紀行
- P24 なかそらちアンテナショップ
- P26 なかそらちの特産品
- P28 キャンプ&温泉天国なかそらち
- P30 なかそらちMAP



雨竜沼湿原（雨竜町）



三段滝

国道452号沿い、気軽に見られる芦別の名勝。幾重にも折り重なる岩盤(柱状節理)の上を縫うように川が流れる。秋は美しい紅葉スポットに。

芦別市



かもい岳の眺望と雲海

冬はスキー場となるかもい岳山頂より望む景色。春や秋の夜明けから早朝にかけては、気象条件が整えば幻想的な雲海も見られる。

歌志内市

なかそらちの 絶景

知る人ぞ知る絶景スポットがたくさん。
中空知には、感動的な
景色が広がっています。

にわ山の桜

奈井江町東部に広がるにわ山は桜の名所。毎年、エゾヤマザクラなど1,800本が山全体を彩る。展望台からの眺望も必見。

奈井江町



砂川オアシスパーク

100haもの遊水地がある砂川オアシスパーク。夏季は気持ちよく広がる水面でウォーターアクティビティを楽しむ光景も見られる。

砂川市



滝川市

丸加高原からの眺望

北海道らしい牧歌的な風景が広がり、すがすがしい眺めを楽しませてくれる丸加高原展望台。





雨竜町

レーシング

全長709m、最大直線135mのコースがある「雨竜・サーキット」。インストラクターがカート初心者から上級者、ライセンス取得、レース参戦まで、ていねいに指導してくれる。



雨竜・サーキット

雨竜郡雨竜町字恵岱別208

☎0125-78-3839

図9:00~16:30 休木曜・隔週金曜
 図4,000円 ※土・日曜、祝日／一日
 5,000円、午前3,000円、午後4,000円
 【レンタルカート料金】
 3周／1,000円、10分／2,000円
 図http://asahikawakart.a1a9.jp/

芦別市

スターウォッチング

芦別市は1988年に環境省から「星空の街」に認定されたまち。「星の降る里」というだけあり、天然のプラネタリウムといえる星空が市内各所で見られる。ホテルでは、専門スタッフによる「スターウォッチング」を毎日開催している。



芦別温泉スターライトホテル 芦別市旭町油谷1 ☎0124-23-1155

図20:00~21:00 図宿泊者は無料、一般1,200円 ※先着予約制(定員約30名)
 図https://ofurocafe-seiyukan.com/starwating/

なかそらちで感動体験

意外な体験ができるのも、
 中空知の魅力。
 ここでしか味わえない
 感動のひとつがあります。

グライダー

滝川市

日本初の本格的航空公園「たきかわスカイパーク」ではグライダー体験ができ、インストラクターが操縦するので未経験者でも大丈夫。菜の花畑が広がる5月から、黄金色の田園風景を見渡せる秋まで、空からの景色を満喫してみよう。貴重な航空機が展示されている「スカイミュージアム」も楽しめる。

たきかわスカイパーク

滝川市中島町139-4 ☎0125-24-3255

図sata@takikawaskypark.jp

図https://www.takikawaskypark.jp

【グライダー体験飛行】

図10:00~16:00(4月下旬~11月上旬)※不定休
 図一般8,500円、小学4年生~高校生4,500円
 ※市民料金有

【スカイミュージアム(航空動態博物館)】

図9:00~17:00
 休夏期無休、冬期(11月中旬~4月中旬)は
 土・日曜・祝日・年始年末休み
 図一般320円、高校生210円、小・中学生100円
 ※料金、営業日等は変更する場合があります

カヌー

滝川市では、石狩川の支流ラウネ川でカヌー体験ができる。ラウネ川は三日月湖のため流れも穏やかなので子ども連れでも安心してカヌーに乗れる。

滝川市

滝川市B&G海洋センター

滝川市西滝川10

☎0125-23-4194

図9:00~17:00(5月第2土曜~10/10)

休月曜(祝日の場合は翌日)、冬期休業

図大人400円、小人190円 ※市民料金あり

図http://www.takikawa-taikyou.jp/kaiyouusennta1.html



馬具づくりが原点、 革製品の総合ブランド



世界中の人に愛される、品質の確かな品が揃うソメスサドルの「砂川ファクトリー&ショールーム」。

ソメスサドル 砂川ファクトリー&ショールーム

砂川市北光237-6
☎0125-53-5111

🕒10:00～18:00 ㊟年未年始
📍あり(無料・100台)
🌐<https://www.somes.co.jp/>

砂川市

明治以降、北海道の開拓を支えた馬。その馬具づくりの技術を守り、磨き続けてきた「ソメスサドル」。国内外の競馬騎手の鞍を手がけ、宮内庁に馬車具を納入するなど一流の技術を転用し、質の高いバッグや文具などをハンドメイドで制作して世界中に愛用者が広がっている。砂川ファクトリー&ショールームの広大な敷地内では、春から秋にかけて中庭に馬を放牧する風景も見られる。



使うほどに馴染む、 一生ものの鞆



創業以来“タンニンなめしの革”にこだわり、今も使い続けている「いたがき」のバッグ。タンニンなめしの革は堅牢な天然素材で、使うほどに馴染み、艶や風合いが増していく。職人が一つひとつ、手作業で丁寧に作り上げる革製品はまさに一生ものの風格。赤平本店には全ラインナップをそろえたショールームがあり、緑豊かな景色を望むカフェスペースも備えている。

鞆 いたがき 赤平本店

赤平市幌岡町113
☎0125-32-0525

🕒10:00～17:00 ㊟年未年始
📍あり(無料・17台) ㊟約20席(カフェスペース)
🌐<https://www.itagaki.co.jp/>

赤平市

北海道を代表する鞆メーカー「いたがき」、日本唯一の馬具メーカーとして技術をいかす「ソメスサドル」、ロンドンにも進出したコスメティックブランド「SHIRO」。なかそらちの人と風土が育んだ、全国に、全世界に、誇りたいハイブランドがあります。

なかそらち ハイブランド

自然素材をシンプルに 楽しめるコスメ



SHIRO SKINCARE

強いとろみで保水力の高い“がごめ昆布”や、お米の恵みがつまった“酒かす”など、素材の力を最大限引き出したスキンケアを提案。

・がごめ昆布美容液 6,050円(税込)／北海道函館のがごめ昆布
・酒かす化粧水 4,054円(税込)／北海道栗山町の酒かす



SHIRO FRAGRANCE

ナチュラルでありながら心地よく、オードパルファンをはじめ、ハンドソープやルームフレグランスなどをラインナップ。毎月発売する限定フレグランスシリーズも用意。

・アールグレイ ハンド美容液 3,080円(税込)
・サボン オードパルファン 4,180円(税込)



SHIRO LIFE

SHIROのスキンケアに使っている素材や加工品を厳選した、食のセレクト SHIRO LIFE。生産農家さんたちが愛情たっぷりに育てた素材だけを集め、使う楽しみ、食べるよろこびを届けている。

・嶋崎農場ルバーブジャム 864円(税込)
・SHIRO CAFE ジンジャーシロップ 1,944円(税込)

「自分たちが毎日使いたいものをつくる」というシンプルな想いからスタートしたコスメティックブランド「SHIRO」。自社内に開発から販売まですべての機能を持ち、創業当初からエンカナルな信念に基づくものづくりを続けている。酒かすやがごめ昆布、ラワンぶきなど、国内外から見つけ出した、厳しい自然が育んだ素材のちからを最大限に引き出すスキンケア、コスメ、フレグランスを提案。日本全国に直営店舗を展開するほか、ロンドンに実店舗を構え、台湾や米国では自社EC、中国では越境ECでの販売を行なっている。

SHIRO 砂川本店

北海道砂川市西1条南5丁目1-4 ☎0125-52-9646

🕒10:00～20:00 ㊟19:30 ※2023年春以降、同市内移転予定。「SHIRO 公式オンラインストア」にて確認できます。
🌐<https://shiro-shiro.jp/ext/shoplist/shop/sunagawa/index.html>

砂川市



北海道での取り組み

2021年6月から、SHIROの創業地である北海道砂川市において、工場の移転新設と市全体の活性化を目指すまちづくり「みんなのすながわプロジェクト」を推進中。
2022年12月には新工場の稼働、23年春には新工場と付帯施設を含む「みんなの工場」がオープン予定。
<https://shiro-sunagawa.jp/>



大人もびっくり！ 「ふしぎの森」

砂川市

「北海道子どもの国」は子どもが自然に親しみながら夢と希望を育む場として設置された道立都市公園。中でも世界の七不思議を縮尺して再現した「ふしぎの森」は、大人も楽しめる撮影ポイント。ピラミッドやピサの斜塔、万里の長城など、インスタグラムで発信すれば見た人がびっくりしそう。

北海道子どもの国

砂川市北光401-1

☎0125-53-3319

🕒9:30～17:00

🏠施設により異なる

※冬期休館(11月下旬～4月下旬)

🎫利用条件により異なる(中学生以下無料)

📄あり(無料・929台)

🌐<http://www.hokkaidokodomonokuni.or.jp/>

珍しい鑑賞石の 展示は圧巻

歌志内市



国内唯一の女性研磨師・加藤園美さんが手がける鑑賞石を展示販売。北海道の流紋岩やアンモナイト、世界でも珍しい結晶鉱物や日本三大銘石「神居古潭石」が揃う。

加藤樹石苑

歌志内市宇中村58 ☎0125-42-2278

遊覧飛行気分が味わえる すべて空撮の写真館

芦別市



空撮写真の第一人者・清水武男の作品を一堂に会した空撮写真だけの展示施設。北海道の雄大な自然のほか、農業や漁業など様々な視点での風景が楽しめる。南米やアフリカなど海外の空撮写真も展示され、北海道や世界各国の遊覧飛行気分が味わえる。

清水武男世界空撮写真館

芦別市西芦別町11 ☎050-5856-2832

🕒12:00～16:00 休月・火曜 📄あり(無料)

🌐http://shimizutakeo.iinaa.net/99_blank005.html

ここはどこ？

マニアにはたまらないポイントも！

中空知にしかない、

おもしろい場所を紹介します。

マニアック なかそらち



かわいい！！ 「笑う狛犬」

滝川市

滝川市にある「江部乙神社」は、笑う狛犬がいると話題になった神社。明治27年に屯田兵の入植によって建てられた神社で、狛犬も屯田兵の一人・佐々原一夫さんが明治43年につくったものだという。なぜ笑っているのか、それは今も謎だが、それでも見ていると思わず笑顔になってしまう。

江部乙神社

滝川市江部乙町東12-1-24

☎0125-75-2022

🌐<https://hokkaidojinjacho.jp/>江部乙神社/

北海道天然記念物の タキカワカイギュウ

滝川市



1980(昭和55)年、滝川市内を流れる空知川で新種の海牛の化石が見つかり、寒冷に適應して独自に進化した500万年前の海牛の存在が明らかに。「滝川市美術自然史館」には、体長約8m、重さ4tと推察される生体の復元模型や、全身骨格標本のレプリカが展示されている。

滝川市美術自然史館

滝川市新町2-5-30 ☎0125-23-0502

🕒10:00～17:00 ※入館は16:30まで 休月曜、祝日の翌日、※冬期休館(12/1～2月末日)
🎫大人630円、高校生380円、中学生250円、小学生120円

🌐<https://www.city.takikawa.hokkaido.jp/260kyouiku/05bijyutsu/b-museum.html>



2



1



4



3

1.旧・校舎を利用した広々とした店舗に、きれいに再生された品々が並ぶ。2.昭和初期のお茶の間の再現したコーナー。すべてが新鮮に目に映る。3.エジソンが100年以上前につくった蓄音器は目玉商品の一つ。4.夏は宿根草の庭に取り囲まれる「豆電球」。

豆電球

雨竜郡雨竜町字満寿36-80 ☎0125-78-3310

図11:00～18:00(10～12月は～16:00) 休火～金曜、1月～3月 回あり(無料) 図http://www.mamedenkyu.com/



いわた書店

砂川市西1条北2丁目1-23 ☎0125-52-2221

図9:00～18:00 休日曜 回あり(無料) 図http://iwatasyoten.my.coocan.jp/



砂川市

一万円選書で話題の本屋さん

ドキュメンタリー番組などで「一万円選書」が話題となった「いわた書店」の店主・岩田徹さん。自分の読書体験や生い立ち、好みなどを専用のカルテに書いて送ると、岩田さんがその人に合う本を送料込み1万円で購入してくれる。現在予約は殺到しているので、実際に岩田さんの書店を訪ねて、「一万円選書コーナー」を眺めるのがオススメ。

昔懐かしいリサイクルショップ & 木工房

雨竜町

昭和40年代のものを中心に懐かしのアンティークがずらりと並ぶ「豆電球」。文房具から電気製品まで、一度は不用品とされた物がきれいに磨かれ、修理され、店頭で並べられた様子は昭和がテーマの博物館のよう。店舗は解体予定だった旧・雨竜中学校の校舎を店主がコツコツと修繕した建物。夏はそのまわりを花々が取り囲み、手をかけられたものにあふれた温かな雰囲気が漂っている。

ドラマ化されたまちの歴史

新十津川町



新十津川町の開拓の歴史や移住者の人間愛が描かれた「新十津川物語」。斉藤由貴主演でドラマ化された際はまちをあげて協力した。「新十津川物語記念館」にはロケの際に使用した衣装や小道具をはじめ、原作者の縁の品々を展示。まちの財産ともいえる物語の精神を今に伝えている。ふるさと公園に遊びに来たら、ぜひこちらにも立ち寄ってほしい。

新十津川物語記念館

樺戸郡新十津川町字総進188-6(ふるさと公園内) ☎0125-76-2995

図10:00～16:00 休なし ※冬期休館(11/1～4/28)

料大人200円、小・中学生100円 回あり(無料・5台)

図https://www.town.shintotsukawa.lg.jp/kanko/detail/00000354.html

夢、果てしなく坂本龍馬ゆかりの地

浦臼町



蝦夷地へ移住・開拓を夢見た坂本龍馬。暗殺により夢を絶たれたが、その甥や養嗣子など親族らが蝦夷地に渡り龍馬の遺志を継いだ。なかには浦臼に入植し発展に尽くした人も。町内には坂本家の墓もあり、郷土史料館にはその遺品や龍馬に関する資料が展示されている。

浦臼町郷土史料館

樺戸郡浦臼町字ウラウシナイ183-21 ☎0125-68-2237

図9:30～16:00 休月・火曜(祝日の場合翌日) ※冬期休館(11/1～4月下旬) 料無料 回あり(無料・9台)

図https://www.town.urausu.hokkaido.jp/kankou/spot/spot02.html

旧・歌志内線 駅名標のレプリカ

歌志内市



炭鉱時代、歌志内市を支えてきた歌志内路線の駅名標(看板)のレプリカ。市内には現在5つ(歌志内、歌神、神威、西歌、文珠)設置されており、鉄道ファンの方は必見。

市内全5駅それぞれの駅跡地付近

図歌志内市産業課 ☎0125-42-3215

架空の駅としてもファンに人気

上砂川町



大正8年に前身の三井専用鉄道として開設された上砂川線は、石炭の輸送手段として炭鉱町を支えてきた。終点の上砂川駅は、その時代の独特の雰囲気を放ち、映画やテレビドラマのロケ地となった。その駅舎は倉本聡のドラマ『昨日、悲別で』の架空の駅「悲別駅」として使われたことから、当時の時刻表などを残し、ファンのロケ地めぐりのひとつとなっている。

旧上砂川駅舎

空知郡上砂川町中央北1条1丁目3

日本遺産「炭鉄港」のある中空知エリア

近代北海道を築く礎となった「空知」・「室蘭」・「小樽」の三都を、石炭・鉄鋼・港湾、そしてそれらを結ぶ鉄道というテーマで繋ぎ、人と知識の新たな動きを作りだそうという取り組みが、令和元年5月、文化庁が選定する「日本遺産」に登録されました。それこそが「炭鉄港」という宝物なのです。中空知エリアもその重要な役割を担っていました。

※「日本遺産」とは、地域の歴史的な魅力や特色を、有形・無形の様々な文化財で語るストーリーにし、その魅力を広く発信するとともに、人材育成、伝承、環境整備の取組を効果的に行い、地域のブランド化やアイデンティティの再確認をするものです。



シャッターポイント



芦別市街地より
国道452号を南方向へ
車で約10分。
「炭山川橋」上から
眺められます。

炭鉱遺産と渓谷美が 織り成す景観

たんざんがわ
炭山川にかかる「旧三井芦別鉄道炭山川橋梁」。1945(昭和20)年、三井鉱山の石炭運搬線を延長するために建設され、1989(平成元)年の廃線まで活躍。2019(令和元)年に日本遺産「炭鉄港」の構成文化財として認定を受けた。橋の上にはディーゼル機関車DD501や石炭専用貨車セキ3820が保存展示されている。

旧三井芦別鉄道炭山川橋梁

芦別市西芦別町・中の丘町

☎0124-24-2121(星の降る里百年記念館)



芦別市



模型や石炭画で 採炭当手を振り返る

炭鉱で栄えたまちの暮らしや歴史を紹介する「かみすながわ炭鉱館」では、世界でも珍しい水力採炭の模型を展示。また、かつて炭鉱業に従事していた画家の故・早川季良さんが、炭鉱の道具やズリ山の炭粉を貼り付けるなどして制作した石炭画(コールレリーフ)などを展示し、当時の炭鉱にみなぎるエネルギーを伝えている。

かみすながわ炭鉱館

空知郡上砂川町本町北1丁目1-3 ☎0125-62-2223

☎10:00~16:00(5~10月の土・日曜、お盆のみ営業)

☎入館料無料 ☎あり(無料・約10台)

☎https://town.kamisunagawa.hokkaido.jp/soshiki/kikaku/chiiiki/kanko_shisetsu/345.html

上砂川町

かつて空知地域にはたくさんの炭鉱があり、日本の近代化に大きく貢献しました。炭鉱の人々のパワーは地域の文化や景観に今も息づき、語り継がれています。

炭鉱叙景

炭鉱遺産を 紹介する拠点

赤平市

炭鉱で実際に使われていた道具や生活用品など、約200点の資料を展示。実際に炭鉱で働いていた人をガイドに、通常では立ち入れない「旧住友赤平炭鉱立坑櫓」の内部や、炭鉱の坑内で使われていた大型機械を展示している自走榨工場などの見学もできる。

赤平市炭鉱遺産ガイダンス施設

赤平市字赤平485

☎0125-74-6505

☎9:30~17:00(入館は16:30まで)

(ガイド)10:00~13:30~

☎月・火曜、年始年末

☎入館無料(ガイド料は有料)

☎あり(無料・20台)

☎<https://www.city.akabira.hokkaido.jp/docs/2018071100039.html>

\\ Pick up! //

炭鉱遺産が数多い赤平の象徴

日本最大級のズリ山

坑内から出る岩石などを通称で「ズリ」という。これが積み上げられ、できた山がズリ山。北炭赤間炭鉱から出たズリの山は標高197.65m。777段の階段は日本一のスケールで、頂上から暑寒別岳、十勝岳などが一望でき、第94回アカデミー賞国際長編映画賞を受賞したドライブ・マイ・カー(監督:濱口竜介)のロケ地にもなった。



赤平市字赤平693

☎0125-32-1841(赤平市商工労政観光課)

☎常時開放 ☎冬期閉鎖 ☎あり(無料・50台)



内部の見学ができる数少ない炭鉱跡の一つ、「旧住友赤平炭鉱立坑櫓」が目の前に。



1. 炭鉱歴史資料館から資料を移設、展示している。2. 立坑櫓や炭鉱住宅街などが再現されたジオラマの前にガイドが説明。3-4. 施設の内部には特産品ショップも。



田園風景が広がり、米の栽培も盛んな中空知。自家野菜などを使った、農家直営のカフェやレストランも数多い。



緑に囲まれた ファームレストラン

砂川市

自家製トマトをふんだんに使った生パスタや手作りトマトジュースで、大地のめぐみを味わえます。その日採れた自家農園の野菜の販売もしているのでお土産にどうぞ。

カフェ ピノキオ

砂川市焼山264-1 ☎0125-52-3678

営業11:00～16:00 休月・火曜
☎あり(無料・20台) 席35席



自家製のトマトソースがたっぷりのパスタは、トマト好きな方には一度食べてもらいたい一品。



鶏ガラや魚介のダシが効いたスープカレーは屋限定のメニュー。



新鮮野菜、 自家米のスーパークレー

滝川市

滝川で約80年続く「中村農園」の米や野菜を中心に、北海道の厳選素材を使ったメニューを提供。屋のみ食べられるスーパークレーは、19種の食材を煮込んだスープに10種のスパイスをあわせた自信作。

おおげつ

滝川市大町1丁目1-7 2階 ☎0125-74-6296

営業11:30～15:00 18:00～22:00
休月曜 日曜 日曜 ☎あり(無料・約3台) 席45席
☎http://ameblo.jp/oogetsu/

地元で収穫された農産物が味わえるレストラン、
のんびりできるカフェ、炭鉱時代に食べられていた
懐かしいグルメなど、様々な食が楽しめます。

“空知野シリーズ”の味を お試しあれ

奈井江町

無農薬の浦臼町産「牡丹そば」を使った完全手打ちの二八蕎麦を提供。空知産の野菜や鴨肉、赤ワインなども使った“空知野シリーズ”の品々は、この店にしかない一味違う美味しさ。

手打ちそば処 からまつ園

空知郡奈井江町茶志内2区 ☎0125-65-4571

営業(3月～10月)11:00～20:00 19:30、
(11～2月)11:00～19:00 18:00
休木曜、1/1～1/4 ☎あり(無料・30台) 席70席
☎http://www.karamatsu.co.jp/



中空知の特産品であるトマトを使った「つけトマト」。



なかそらち 食紀行

大地の味わい



中空知は北海道有数の蕎麦の産地。地元の蕎麦が味わえる店にもぜひ訪れてみたい。

幻の「牡丹そば」が地元で食べられる

浦臼町

浦臼産の「牡丹そば」を提供する貴重な店。香り豊かな「牡丹そば」を二八で手打ちした蕎麦を提供。夏は自家栽培の野菜を始め、町内の旬の食材もふんだんに使っている。

御食事処 わか杉

樺戸郡浦臼町宇ラウスナイ183-33
☎0125-67-3882

営業11:00～14:00 17:00～22:00
休月曜 ☎あり(無料・約5台) 席28席



家族経営のアットホームな雰囲気店。



ボリュームに満足！

滝川市

「喫茶マリン」の天丼

どのメニューもボリューム満点。
特に、天ぷらは迫力も満点!!ご飯
の上にそびえ立つ「天丼」は写真も
映えること間違いなし！

滝川市泉町1丁目13-37 ☎0125-24-5948
営業10:00～17:00 休日曜
回あり(無料・15台) 座20席

「cake & cafe 笑飛巢」のポークチャップ

砂川市

砂川のご当地グルメ「ポークチャップ」を重さ600gのビックサイズで提供。1日5食限定、1.2kgのキングサイズも。

砂川市東7条南8-10 ☎0125-74-5868
営業11:00～17:00 回16:30
休水曜、第3火曜 回あり(無料・4台)
座28席 回http://www.cafe-ebisu.com/



「カネイ池内」の海鮮丼

砂川市

創業68年の老舗鮮魚店が営む海鮮丼専門店。鮮魚店ならではのネタの新鮮さ、コスパのよさは抜群。

砂川市東1条北2丁目1-1(「中央市場」内)
☎0125-54-2952
営業(ランチ)11:00～ 回14:30
※テイクアウトは18:00まで
休日曜 回あり(無料・15台) 座24席



「レストラン・クリスタル」のMEGA盛り

新十津川町

宿泊施設「サンヒルズ・サライ」のレストランでは、3ヶ月ごとに変わる5種のメガ盛りメニューが大人気。

樺戸郡新十津川町字総進188-5
(ふるさと公園内 サンヒルズ・サライ1階)
☎0125-76-3000 営業11:00～ 回14:00
休不定休 回あり(無料・50台)
座45席 回http://www.shintotsukawa.net/



「柳屋食堂」のワンコインメニュー

赤平市

味も抜群なのに、ワンコインで食べられるメニューが30種もあり選べるのがうれしい。

赤平市茂尻元町北1-4 ☎0125-32-3018
営業11:00～14:00
※ご飯がなくなり次第終了の場合あり
休日曜 回あり(無料・8台) 座36席



「きふうざし 喜富寿司」の握り寿司

雨竜町

寿司や食、丼物などしっかりとお腹を満たせる店。ネタもシャリも優に通常の2倍はある握り寿司は雨竜町の名物。

雨竜郡雨竜町満寿30-29
☎0125-78-3823
営業11:00～19:00 ※ネタがなくなり次第終了
休月～水曜 回あり(無料・10台) 座60席



「吉野鮎」の寿司・ラーメンセット

奈井江町

奈井江町で50年以上続く鮎店で評判になっているラーメン。豚骨ベースなのにあっさりした味わいの醤油や、冬は身体のあたたまる辛味噌も人気。ぜひ一度お試しあれ。

空知郡奈井江町本町二区
☎0125-65-2703
営業11:30～19:30 休不定休(月2回)
回あり(無料・4台) 座58席
回http://www.naie.jp/kam/yoshino/yoshino.html



古民家カフェ・アンテナショップでのんびり

雨竜町

農業の魅力を伝えるアンテナショップ

自家製の米と野菜を原料としたポン菓子や、海外の女性作家が手掛けた雑貨などを販売する「農家のお菓子 peponi」。フェアトレードや食の安全性、農業の魅力を伝えるアンテナショップで雨竜町のお土産はいかが？

農家のおかし peponi

ペボニ

雨竜郡雨竜町字恵岱別1463 ☎0125-78-3231

営業金・土曜(13:00～17:00)
休日～木曜
回あり(無料・約5台)



1.カラフルポン菓子は丹精込めて育てた米と野菜が原料。野菜パウダーと道産のてん菜糖、塩のみを使ったシンプルなお菓子。
2.ナチュラルな店内には、ポン菓子とたくさんの雑貨などが並ぶ。

自家製の石釜で焼くピザが評判

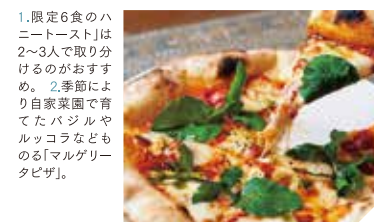
新十津川町

築50年以上の民家を改装した居心地のよいカフェ。主人手製の石釜で焼く5種類のピザや週替わりパスタのほか、和風パフェやハニートーストなど甘党も大満足のスイーツが食べられる。

石釜カフェ ヤマト

樺戸郡新十津川町字大和127-5 ☎080-9008-0810

営業11:00～16:00 回15:00 休火・水曜
回あり(無料・10台) 座22席 回https://www.facebook.com/yamato0427/



1.限定6食のハニートーストは2～3人で取り分けるのがおすすめ。2.季節により自家菜園で育てたパズルやルッコラなどもの「マルグリータピザ」。

郷土のグルメ

新十津川町

とりめん、めはりずし

新十津川町は奈良県十津川村から入植した人々が開いたまち。彼らが伝えた郷土料理に由来する、奈良県の三輪そうめんを卵とじにした鶏肉入りの「とりめん」と、刻んだ高菜やかつおをまぶした握り飯を高菜の葉で包んだ「めはりずし」は、二つの町村の歴史を伝える料理である。

新十津川物産館 レストランくじら

⇒店舗詳細はP25

なんこ

歌志内市

産炭地で食べられていた「なんこ」は、馬の腸をやわらかくなるまで煮込み、味噌で味付けしたもの。栄養たっぷりて重宝され、具の種類や隠し味などの違いが各家庭の味だった。歌志内市で今も名物料理として受け継がれている。

東北・北陸から入植した開拓者により伝わったのが起源といわれる「なんこ」。

こんな炭鉱グルメも

「炭鉱をイメージして作った黒いウォッシュチーズ」

上砂川町

新十津川の酒蔵「金滴酒造」の日本酒、竹炭を混ぜ洗いながら2週間ほど追熟。炭をつけることでより熟成が進み、トロトロの状態になり、舌触りはなめらかで濃厚、バターを彷彿とさせる味わいになっている。

きまぐれ牧場
商品問い合わせ
☎https://kimagurebokujo.stores.jp/
(送料等詳細も記載)

■町内取扱店舗
まちの駅ふらっと
☎0125-74-6400
(オンラインで注文の受け取り可
もしくは店内少量在庫あり)

よしかわ商店
☎0125-62-2727
(要在庫確認)



パンに塗って食べるのもおすすめ。

「旧アカシ食堂・幻のソースカツ丼」

上砂川町

炭鉱マンたちが通ったアカシ食堂。すでに暖簾を下ろしたが、名物の「ソースカツ丼」を地元有志が期間限定で復活させたところ、評判を呼び、今は「レストラン パンケ」の看板メニューとなっている。

上砂川岳温泉パンケの湯 レストラン「パンケ」



上砂川町字上砂川65-106
☎0125-62-2526

☎11:00～14:00
☎17:00～20:00
☎19:30
開年未年始
☎あり(無料・40台)
☎50席
☎http://www.pankenoyu.com

サクサクに揚げられたトンカツにオリジナルの甘口ソースをかけた味わい深いカツ丼は、炭鉱マンの愛した味。

滝川市

ジンギスカン



「松尾ジンギスカン本店」のジンギスカン。たくさんの野菜を周りで煮込みながら、ジンギスカンを食べよう。肉の表面を軽く焼いて食べると、本来の旨みとやわらかさが堪能できる。

タレに漬け込んだ、味付けジンギスカンがいち早く盛んになった滝川市。その立役者は1956(昭和31)年に松尾羊肉専門店として開業した「松尾ジンギスカン」。りんごや玉ねぎを使った特製のタレで、羊肉のクセを少なく、肉の旨味を最大限に引き出したおいしさが絶大な支持を受け、各地へ広まっていった。市内には味付ジンギスカンを販売するメーカーがほかにもあり、家庭で好きなジンギスカンを楽しむことができる。全国的に有名な「松尾ジンギスカン」本店では、代々受け継がれたジンギスカンを提供。

松尾ジンギスカン 本店

滝川市明神町3丁目5-12 ☎0125-22-2989

☎11:00～22:00 ☎21:15
開年未年始 ☎あり(無料・120台) ☎386席
☎http://www.matsuo1956.jp/

ガタタン(含多湯)

塩味ベースのスープに豚肉やイカ、野菜などたくさんの具を入れ、とろみをつけた芦別の名物料理。かつて芦別にあった人気中華料理店「幸楽」が考案し、炭鉱の活況によってまちの馴染みの味に。炭鉱夫たちの手ばやい栄養補給にも一役買っていた。

提供店

- きんたろう 芦別市北4条西1丁目3 ☎0124-22-8205
- 新宝来軒 芦別市上芦別町38 ☎0124-23-1504
- 宝華飯店 芦別市北1条西1丁目14 ☎0124-22-2231
- 居酒屋かくれんぼ 芦別市北1条西1丁目18 ☎0124-22-3129
- レストラン「ラ・フルール」 芦別市北4条東1丁目1
(「道の駅スタープラザ芦別」内) ☎0124-23-1437
- のみくい処かきくけこ 芦別市北1条西1丁目6 ☎0124-22-8688



現在は芦別市内の各店でラーメンにしたり、チャーハンにしたりと様々なアレンジで味わえる。

芦別市

赤平市



ストーブをガンガン焚いてガンガン煮込み、ガンガン食べて働く、というような意味で「がんがん鍋」という名前に。

がんがん鍋

炭鉱産業が栄えていた昭和20年頃によく食べられていた料理。炭鉱長屋の石炭ストーブで、豚ホルモンや豆腐・野菜などを入れ、味噌ベースのスープで煮込んで食べていた。昔懐かしいスタミナ料理「がんがん鍋」、現在は赤平市内の各店で食べられる。

提供店

- 海鮮居酒屋 暖らん 赤平市本町1丁目2 ☎0125-32-5217
- 寿しの松川 赤平市本町1-2 ☎0125-32-3065
- 八千代寿司 赤平市本町2-1 ☎0125-32-2065
- 焼肉のたきもと 赤平市茂尻中央町南1-7 ☎0125-32-2265
- スナック メトレス 赤平市本町2-4 ☎0125-33-7012

野菜ソムリエによる 空知産野菜のジェラート

滝川市

野菜ソムリエの資格を持つ店主が、地元の野菜や果物の魅力を伝えたいと2018年にオープン。季節ごとの旬な野菜や果物は、直接農家さんから仕入れ、素材の色や風味を損なわず仕上がったジェラートは、見た目も味も最高！



左は滝川産のブルーとリンゴ。右は浦臼産のかぼちゃ「ほっこり姫」と滝川産のさつまいも「紅あずま」。

Gelate Rainbow maker

(ジェラートレインメーカー)

滝川市有明町2丁目1-45

☎090-9757-5747

☎11:00～17:00

※火・水・木曜

☎あり(無料・3台) 廊8席



道産牛乳など 厳選素材を使用した 「ご当地ソフトクリーム」

奈井江町

日本一長い直線道路にある道の駅で味わう特製ソフトクリームは濃厚な味わいで疲れも癒されそう。色々な種類のクレームもおススメ。オリジナルコーヒーやエスプレッソも提供している。



ソフトクリーム(ワッフルコーン)

naie milk factory

空知郡奈井江町

字奈井江28-1

(道の駅「ハウスアルビ奈井江」館内)

☎0125-44-4084(らあめん がんばてつ)

☎(4月下旬～10月)10:00～17:00、

(11月～4月下旬)10:00～16:00

※年未年始 ☎あり(無料)

テイクアウトもOK!



天然酵母でふくらむpanettoneのパンは、味も形も丸く仕上がりが、温かみのある店内に並ぶ。また、季節限定のパンやソフトクリーム、お菓子などは随時公式Instagramでお知らせ中。

「panettoneの天然酵母パン」

滝川市

滝川産「はるゆたか」小麦を使った、焼き立てパンの香りが店内いっぱい広がる。地元の野菜や果物と合わせたサンドイッチや菓子パンのほか、クッキーやラスクなどたくさんの種類が販売されている。コーヒーやハーブティーなどのテイクアウトも可。



滝川市西町3丁目1-9

☎0125-22-7100

☎8:00～17:00

※月・火曜 ☎あり(無料7台)

☎ http://panettone-online.com/

北海道を代表する 和洋菓子店

砂川市

熟練の職人が素材にこだわり、手間を惜しまずつくる和洋菓子が絶大な人気。本店には喫茶フロアも併設。夏季はソフトクリームを片手に、四季折々の花が咲く隣の庭園の散策も楽しい。



好きなケーキ1個、シフォンケーキ、ソフトクリームが1プレートになった名物メニューのケーキセット(ドリンク付)。



北菓楼 砂川本店

砂川市西1条北19丁目2-1

☎0125-53-1515

☎9:00～18:00(喫茶フロア)11:00～16:00

※元日 ☎あり(無料・50台) 廊33席

☎http://www.kitakaro.com/

スイーツ & パン

牧場風景と 自家製ミルクのスイーツ

砂川市

生乳の味にとことんこだわった放牧牛の新鮮ミルクで手づくりするジェラートが大好評。本店限定のケーキやお菓子も販売。明るく開放感のある店内でゆっくりとくつろげる。



40種のフレーバーから日替わりで14～16種が並ぶ。



岩瀬牧場 ジェラートショップ

砂川市一の沢237-6

☎0125-53-5071

☎9:00～18:00 ※年未年始 ☎あり(無料・20台)

☎21席 ☎http://www.iwasefarm.co.jp/

テイクアウトもOK!

\\ Pick up //

サクサクの食感がたまらない

昭和23年創業、砂川の小さな菓子店。なかでも一日に何度も焼き上げる「アップルパイ」は、道外から買いに来る人がいるほどの大人気商品。店にはイトインもあり。



ナカヤ菓子店のアップルパイ

砂川市東1条南10丁目2-13 ☎0125-52-2575

☎9:30～17:30 ※月曜(祝日の場合は翌火曜)、第一日曜(変動あり) ☎あり(無料・28台)

☎https://sweets-n.com/

「すながわスイートロード」

砂川市

砂川市を走る国道12号沿いを中心に数多くの菓子店やカフェが点在する「すながわスイートロード」。周辺が炭鉱で栄えていた時代から、疲れを癒す甘いお菓子は欠かせないものだった。今も創業100年を越える老舗や全国的に知名度の高い店など、個性豊かな店がまちを彩っている。



大きなクマガラの入口が目印の「AKABIRAベース」は、赤平市でとれた新鮮な野菜やお菓子、お土産、周辺の観光情報が揃う観光案内所。赤平新名物のホットレッグなどグルメも充実。イートインスペースもありゆっくりとくつろげる。赤平市出身のタレント・鈴井貴之氏が出演する『水曜どうでしょう』のコーナーを設け、番組グッズの取り扱いもしており、ファンならずとも楽しめる。

情報発信基地
AKABIRAベース 赤平市



10種近い味が揃う「あかびらかりん」と。

赤平市幌岡町54
☎0125-32-6760

図10:00～18:00(火曜定休) [5～6月]、10:00～18:00(無休) [7～9月]、10:00～17:00(火曜定休)[10月]、10:00～17:00(火、水曜定休)[11～4月]
☎あり(無料・10台)
🌐<https://www.akabirabase.com/>

新十津川町の米や加工品、「金滴酒造」の地酒などを販売。館内では町内でみつけた約500万年前のクジラ化石の骨格レプリカも展示している。2階のレストランでは郷土料理「とりめん」や「めはりずし」も楽しめる。

新十津川物産館 新十津川町



樺戸郡新十津川町中央5-1
☎0125-76-3141

図10:00～17:30[3～10月]、10:00～16:00[11～2月] (レストランくじら) 11:00～14:30 ※土・日曜、祝日[11～2月] 16:00まで、[3～10月] 17:30まで ㊟年末年始(レストランは月曜/祝日の場合は翌日) ㊟あり(無料・20台) 🌐<http://www.shintotsukawa.com>

なかそらの道の駅

ハウスサルビ奈井江／奈井江町
フィンランドの友好都市から名付けられた道の駅は、ログハウスの建物が特徴。喫茶「木菟」(みみずく)では特産のしいたけを使った料理が揃う。ジュラード店も併設している。
空知郡奈井江町字奈井江28-1
☎0125-65-4601
図10:00～16:00[11～4月]、9:30～17:00[5～10月] ●喫茶「木菟」10:00～16:00[11～4月中旬]、10:00～17:00[4月中旬～10月] ※レストランは各店舗により異なる ㊟年末年始 ※喫茶「木菟」月曜定休

たきかわ／滝川市
特産品や加工品のほか、地元農家さんが育てた新鮮な野菜や果物、旬の山菜なども販売。また、滝川市と友好親善都市の名護市、栃木市の特産品も販売しています。道の駅たきかわ限定のお菓子も人気。
滝川市江部乙町東11丁目13-3
☎0125-26-5500
図9:00～18:00[4月～10月]、10:00～17:00[11月～3月] ●レストラン11:00～17:00 ㊟16:30 ㊟年末年始

つるぬま／浦臼町
鶴沼公園が近くであり、買い物とレジャーが楽しめる。ヘルシー食品産館では地元の原料を使った豆腐や厚揚げ、「浦臼産豆乳ソフトコーン」が人気。
樺戸郡浦臼町字キナウスナイ188-30
☎0125-68-2626
図10:00～17:00[10～4月下旬]、10:00～18:00[4月下旬～9月] ㊟月曜(祝日の場合は翌日)、年末年始

田園の里うりゅう／雨竜町
農産品などを豊富に取り揃える「特産品直売施設」のほか、ラムサール条約登録湿地である雨竜沼湿原の情報を発信する「雨竜沼自然館」や書道展示室「墨響」といった文化的な施設も併設。
雨竜郡雨竜町字満寿28-3
☎0125-79-2100
図10:00～16:00[11～2月]、9:00～17:00[3～10月]、9:00～18:00[GW、7～9月] ●雨竜沼自然館10:00～16:00[11～4月]、9:30～17:30[5～10月] ●書道展示室「墨響」10:00～16:00[11～4月]、9:00～17:00[5～10月] ㊟年末年始

スタープラザ芦別／芦別市
1階では特産品を揃えるほか、奥にはピッツァエリアがあり、焼きたてのピザが人気。2階のレストランでは「ガタンラーメン」が味わえる。隣りには「星の降る里百年記念館」もある。
芦別市北4条東1丁目1
☎0124-23-1437
図●売店9:00～18:00[10～4月]、9:00～19:00[5～9月] ●レストラン「ラ・フルール」11:00～18:00[10～4月]、11:00～19:00[5～9月] ※営業時間は変更となる場合があります。 ㊟年末年始

うたしなないチロルの湯／歌志内市
天然温泉「チロルの湯」に隣接している道の駅。温泉は自家源泉で「美人の湯」ともいわれる名湯が楽しめる。温泉に併設されているレストランでは名物料理「なんこ定食」も味わえる。
歌志内市宇中村72-2
☎0125-42-5566

なかそらち アンテナショップ

道の駅も含めて、10のまちにあるアンテナショップ。まちの拠点になっているので、珍しいものや情報をゲットしよう。

上砂川町で2017年に誕生したまちの拠点施設。施設内にはコミュニティスペースが広がり、各種イベントや会議ができる。併設のカフェでは、カレーやオリジナルブレンドコーヒーなどが味わえ、世代を超えた人々の憩いの場となっている。気軽に「ふらっと」立ち寄れる場所だ。

上砂川町多世代交流拠点施設
まちの駅 ふらっと 上砂川町



空知郡上砂川町中央北1条4丁目1-5
☎0125-74-6400
図10:00～17:00
フード／11:00～14:00 ㊟13:30、ドリンク／11:00～16:00 ㊟15:30
※営業時間については除菌清掃作業のため16:00となる場合あり。
㊟木・日曜 ㊟あり(無料・6台)
🌐<https://machinoekifuratto.wixsite.com/kamisunagawa>

砂川ハイウェイオアシス館
そらいちマーケット 砂川市



高砂砂川ICのアクセスポイントであり、多くの人で賑わう「砂川ハイウェイオアシス館」。館内には、地元の食材を使ったお店や、道内の有名土産が一堂にそろうショップのほか、「産直市場そらいちマーケット」がオープン。中空知を含む空知地方全体の生鮮品や食品を中心に、生産者の顔が見える野菜や米も販売している。

砂川市北光336-7 ☎0125-74-5783
図9:00～19:00[5～9月]、9:00～17:00[10～4月]
㊟なし ㊟あり(無料・929台) 🌐<http://www.sunagawa-ho.co.jp/>



まちなか集客施設
SuBACo 砂川市



“SuBACo”には砂川市および周辺のパンフレットなどを豊富に取り揃えてあるほか、市内のお店の情報がカードサイズで用意されているので、まち歩きにうれしい。自転車の無料レンタルもできる。

砂川市東1条南1丁目1-23 ☎0125-74-4885
図10:00～17:00 ㊟土・日曜、祝日、年末年始、その他不定休 ㊟なし
🌐 <https://www.city.sunagawa.hokkaido.jp/sangyou/shoukou/subaco.html>

ワイン

北海道を代表するワイナリー「北海道ワイン」の自社農場であり、全国一の面積を誇るブドウ畑が広がる。「ゲヴェルツトラミネール」を使ったワインなど、評価の高いワインがここから生まれている。ショップでしか買えない限定品もあるので、ぜひ足を運んで。



鶴沼ワイナリー
 樺戸郡浦臼町於札内428-17
 ☎0125-68-2646
<http://www.hokkaidowine.com/contents/tsurunuma/>

ピノ・ノワール、ピノブランなど、さまざまな種類が江部乙で大切に育てられている。ぶどう7品種混醸の「えべおつWein」は、ドイツ語で虹を意味する「Regenbogen」と名付けられ、人気のワイン。



えべおつWein ヴァイン
 滝川市江部乙町東11丁目758
 ☎080-6087-3650(高橋)

地酒

中空知にある唯一の酒蔵「金滴酒造」は、北海道一の生産量を誇る新十津川町の酒米をはじめ、道内産の原料にこだわった日本酒をつくっている。また、雨竜町の酒米を使った純米吟醸「うりゅう」や、奈井江町の酒米・慧星を使った「奈井江すいせい」、純米吟醸「あしべつだけ」などもつくられている。

金滴酒造
 樺戸郡新十津川町字中央71-7
 ☎0125-76-2341
<http://www.kinteki.co.jp/>



砂川市の酒店「いりやま小山商店」では、地元の酒米・慧星を使った「砂川慧星」を販売。

いりやま小山商店
 砂川市西1条北2丁目1-28 ☎0125-52-2829
<http://www.iriya-koyama.com/>



各道の駅や地元の商店等でも購入できる(時期により販売)。

クラフトビール

滝川では特産品のリンゴをつかったフルーツビールやクラフトビール「空知シリーズ」各種が楽しめる。

滝川クラフトビール工房
 滝川市西滝川76-1(「滝川ふれ愛の里」内)
 ☎0125-23-3008



チーズ

北海道のチーズ工房の中でも長い歴史を誇る「横市フロマージュ舍」。代表的なものがカンパニールで、ほかにも貴重な「横市バター」やヨーグルトチーズなどがあり、道の駅でも購入できる。

横市フロマージュ舍
 芦別市本町1077
 ☎0124-22-2007
<http://yokoichicheese.com/>



ハム・ソーセージ

本場ドイツのIFFA国際コンテストで金賞受賞歴のある本格派の手づくり工房。地元のシタケを使ったり、ワインや日本酒に合う商品など、味だけでなくバリエーションも豊富。

ヴルストよしだ
 樺戸郡新十津川町字中央6-99
 ☎0125-72-2525
<http://www.wurst-yoshida.com/>



ニジマス

ニジマスの養殖をしている上砂川町では、秋から冬にかけてつくられるニジマス燻製が人気。また、ニジマス燻製醤油は卵かけごはんとの相性が抜群で、お酒の肴にもぴったり。

上砂川岳温泉(パンケの湯)
 空知郡上砂川町字上砂川65-106
 ☎0125-62-2526
<http://www.pankenoyu.com/>

お酒のおつまみに……

なかそらちの特産品

各アンテナショップで販売している特産品をピックアップ。
 限られた時期のもの、
 ここでしか出せない逸品を見つけて。



青肉メロン

北海道といえば夕張メロンなどに代表されるオレンジ色の赤肉メロンを思い浮かべる人も多いはず。中空知には青肉メロンを代表する雨竜町の「暑寒メロン」や、浦臼町の「キングメルティ」、芦別市のアールスメロンの品種「あしべつメロン」がある。

雨竜町

浦臼町

芦別市



サクランボ

芦別市



芦別には二つの大きなさくらんぼ園が並んでおり、7~8月にはさくらんぼ狩りをする人でにぎわう。「大橋さくらんぼ園」の商品は道の駅などで販売しているのでチェックして。

大橋さくらんぼ園
 芦別市上芦別町469
 ☎0124-23-0654
<https://www.oh-cherry.com/>

中西さくらんぼ園
 芦別市上芦別町461-6
 ☎0124-23-0658
<http://nakanisi-cherryen.ftw.jp/>

トマト

砂川市

浦臼町

新十津川町

ほか

トマトの産地としても知られており、浦臼町「北海道アグリマート」のミニトマト・キャロルセブンを使ったジュースは、札幌商工会議所「北のブランド」にも認定された。



マンゴー

浦臼町

南国フルーツ・マンゴーを北海道でもいち早く取り入れたのが、浦臼町「神内ファーム21」。「神内マンゴー」のほか赤牛「神内和牛あか」も生産しており、いずれも「そらいちマーケット」で購入できる。

米

新十津川町

雨竜町

奈井江町

ほか



中空知の全域が米どころ。雨竜町の「うりゅう米」がブランド米として知られているほか、ゆめぴりか、ななつぼし、といった北海道米のクオリティが高いと評判になっている。

焼肉・ホルモン

滝川市

赤平市

芦別市

新十津川町

ほか



ジンギスカンや焼肉、ホルモンなども充実している中空知。各道の駅などで手に入られるほか、「そらいちマーケット」では各市町の商品を一堂に揃える。味の違いを、ぜひ食べくらべよう。

滝川キャンプサイト

滝川ふれ愛の里に隣接しており、木々に囲まれたプライベート感たっぷりのキャンプ場。フリーサイトのほかにも手ぶらキャンプやカーサイト、グランピングと多彩な利用が可能。カヌーやパークゴルフがすぐそばで楽しめます。Wi-FiもOK!!

滝川市西滝川76-1 ☎0125-26-2000

☎https://www.city.takikawa.hokkaido.jp/230keizai/03kankourenkei/10menu/tomaru.html



※日帰り入浴の料金については消費税の変更などあるため各施設にお問い合わせください

なかそらの温泉

浦臼温泉(浦臼町自然休養村センター)

同じ中空知でも泉質はバラエティに富んでおり、中でも浦臼温泉は塩分濃度が特に高いと評判。「浦臼町自然休養村センター」で日帰り入浴・宿泊いずれも利用できる。

樺戸郡浦臼町字キナウスナイ188-30

☎0125-68-2727

☎[日帰り入浴]10:00~21:00

☎https://www.town.urausu.hokkaido.jp/kankou/hotel/index.html



新十津川温泉 (グリーンパークしんとつかわ)

「グリーンパークしんとつかわ」は源泉かけ流しの天然温泉で、泉質の良さが自慢。大浴場とサウナは日帰り入浴でも、宿泊者は展望風呂も利用できる。

樺戸郡新十津川町総進189-1

☎0125-76-4000

☎[日帰り入浴]8:00~20:00

☎https://www.shintotsukawa.jp/



エルム高原温泉(ゆったり)

エルム高原リゾート内の日帰り温泉施設。食事と入浴がセットのお得な割引プランや薬湯の湯などもあり、なかでも高温サウナが人気。コテージやキャンプ場が隣接しているのもうれしい。

赤平市幌岡町377-1 ☎0125-34-2155

☎10:00~22:00(最終受付21:30)

☎https://akabira.net/onsen/



歌志内温泉(うたしな チロルの湯)

道の駅に隣接されており、ドライブついでに立ち寄って便利。旧炭鉱の探掘坑より毎分650ℓ湧出している天然温泉は、大浴場のほか、露天風呂・サウナ・湯場などもある。

歌志内市宇中村78-3

☎0125-42-5588

☎[日帰り入浴]6:00~8:00/10:00~22:00

☎http://tirolnoyu.jp/



滝川ふれ愛の里

泉質は、ナトリウム塩化物・炭酸水素塩泉で重曹泉の名で知られています。別名「美人の湯」、「美肌の湯」とも言われています。高温・スチームと2つのサウナのほか、女性には岩盤浴も楽しめます。コテージでの宿泊もオススメ。

滝川市西滝川76-1 ☎0125-26-2000

☎[日帰り入浴]8:00~22:00(最終受付21:30)

☎https://www.city.takikawa.hokkaido.jp/230keizai/03kankourenkei/10menu/onsen.html



芦別温泉 おふるcafé星遊館 (芦別温泉スターライトホテル)

「美肌の湯」と呼ばれる天然温泉と2種のサウナ、源泉かけ流しの水風呂のほか、リラクゼーションスペースではカフェ感覚で挽きたてコーヒーや読書・食事を楽しみながら過ごせる。日帰り入浴・宿泊いずれも利用できる。

芦別市旭町油谷1

☎0124-23-1155

☎[日帰り入浴]6:00~22:00(最終受付21:00)

☎https://ofurocafe-seiyoukan.com/



上砂川岳温泉(パンケの湯)

よくあたたまる評判で、近くのキャンプ場利用客にも好評の湯。レストラン「パンケ」では名物「ソースカツ丼」や、秋冬はニジマス料理も提供。日帰り入浴・宿泊ともに利用できる。

空知郡上砂川町字上砂川65-106

☎0125-62-2526

☎[日帰り入浴]10:00~22:00

(最終受付21:30) ※土日祝9:00~

☎http://www.pankenoyu.com/



札幌と旭川の間にあって、日帰り圏内のなかそらち。

それでも、キャンプ場や天然温泉が各地にあるので、気軽に泊まれる穴場ポイントにもなりそう。

キャンプ&温泉天国 なかそらち

※利用料金については消費税の変更などあるため各施設にお問い合わせください

なかそらちのキャンプ場

滝里湖オートキャンプ場

富良野から車で約20分ということもあり、夏のハイシーズンには富良野・美瑛観光の穴場の宿泊地としてリピーターが増えている。併設する「滝里ダム防災施設」での展示も楽しむことができる。

芦別市滝里町288 ☎0124-27-3939

☎4月下旬~10月中旬

☎https://go-to-ashibetsu.com/media/2018/02/24/45



管理棟の周辺には「彫刻公園サキヤマ」があり、流政之の作品10点が点在している。



エルム高原リゾート 家族旅行村・オートキャンプ場

国道38号線から約2kmというアクセスのいい場所にありながら、豊かな自然あふれる「エルム高原リゾート」。見晴らしがよく広大な敷地の中に、通年営業のキャンプ場「家族旅行村」や「オートキャンプ場」、さらに温泉施設や貸別荘コテージを隣接し、四季を通して気軽にアウトドアを満喫できる。特に、家族旅行村での冬キャンプは人気。



赤平市幌岡町375-1

家族旅行村 ☎0125-32-6160

オートキャンプ場 ☎0125-32-2164

☎家族旅行村／通年、オートキャンプ場／5月~10月

☎https://akabira.net

かもい岳ビレッジオートキャンプ場

コテージは全棟フィンランド製サウナ・お風呂・屋外バーベキュー完備。冬はスキー客にも人気。

歌志内市宇歌神94-5 ☎0125-42-5733 ☎通年

しんとつかわキャンプフィールド

従来のテントサイトをオートサイトに改修するなど、2022年にリニューアル。場内には展望台も新設され、開拓当時に区画割りされた美しい風景が眼下に広がる。ゆっくりとした時間を過ごせると評判だ。

樺戸郡新十津川町字総進(「ふるさと公園」内)

☎0125-76-2991(「文化伝習館」内)

☎4月下旬~10月下旬

☎https://www.town.shintotsukawa.lg.jp/

kanko/detail/00000350.html



奥沢キャンプ場

日本庭園があり、無料で利用できる珍しいキャンプ場。近くに温泉があるのもうれしい。

空知郡上砂川町字西山43-7

☎0125-62-2526(上砂川岳温泉「パンケの湯」)

☎5~10月

☎https://town.kamisunagawa.hokkaido.jp/sangyo_kanko/kanko/shisetsu/617.html



鶴沼公園キャンプ場

浦臼温泉や道の駅つるぬまに隣接している、田んぼに囲まれたのどかなキャンプ場。足こぎボートやテニスも楽しめる。

樺戸郡浦臼町字キナウスナイ188-306

☎0125-67-3109

☎4月下旬~10月下旬

☎https://www.town.urausu.hokkaido.jp/

kankou/spot/spot04.html



なかそらちMAP

